

いのち輝く未来を拓く
2025年日本国際博覧会に向けて
さらにその先の未来に向けて

第1回

日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

2023.9.1 FRI ~ 10.15 SUN

※詳細は (一社) 夢洲新産業・都市創造機構、日本国際芸術祭専用ページをご覧ください
<https://yumeshimakikou.org/jiaf2023/>



日本国際芸術祭
専用ページ

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構 特別協力 | 世界文化遺産 京都 醍醐寺

後援 | 京都府 / 京都市 / 「大阪・関西万博」京都支援協議会 / (公社) 2025年日本国際博覧会協会
経済産業省 近畿経済産業局 / (一社) 関西経済同友会 / 大阪商工会議所 / (公社) 関西経済連合会

メイン会場：世界文化遺産 京都 醍醐寺
京都府京都市伏見区醍醐東大路町22

※メイン会場については醍醐寺のホームページ
(<https://www.daigoji.or.jp/>) をご確認ください
※入場には拝観料が必要です
※一部、段差や階段がございます



醍醐寺HP



アクセス

プラチナ協賛



阪急電鉄株式会社

Hankyu

ゴールド協賛

OMRON

オムロン株式会社

ic 岩井コスモ証券

岩井コスモ証券株式会社

GLION GROUP

ジーライオングループ

シルバー協賛

木と生きる幸福

住友林業

住友林業株式会社

日本国際芸術祭とは、2025年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭です。万博までも万博後も、千年の都京都、文化庁がある文化首都京都で、アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を目指し、(一社) 夢洲新産業・都市創造機構が本部になり毎年継続させてまいります。2023年の開催期間は9/1～10/15、メイン会場を世界文化遺産京都醍醐寺に据え、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館等を繋ぎ、京都から大阪や全国、さらに世界に繋ぎ、日本から世界にいのち輝く未来を拓いてまいります。



万博までも万博後も一千年の都 **京都**、文化庁がある文化首都 **京都** で開催

世界文化遺産 京都 醍醐寺、京都府、京都市を舞台に
アート、デザイン、サイエンス、テクノロジー、経済の共創によりつながる”万博”と文化首都”京都”

日本国際芸術祭とは、2025年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭です。万博までも万博後も、千年の都京都、文化庁がある文化首都京都で開催致します。アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を目指し、2023年に第1回を開催、2024年、2025年（京都と万博会場）、2026年、2027年と毎年継続していく予定です。2023年の開催期間は9/1～10/15、メイン会場を世界文化遺産 京都 醍醐寺に据え、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館、工場（オープンファクトリー）、寺社仏閣等を繋ぎます。京都を中心に展開し、そこに大阪や全国が繋がっていく形を創り上げます。本芸術祭は（一社）夢洲新産業・都市創造機構が本部になり継続させてまいります。

アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創が
クリエイティブをまちなかに創り出す



世界文化遺産京都醍醐寺メイン会場に据え、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館、工場（オープンファクトリー）、寺社仏閣等を繋ぎ、文化庁が移転した文化首都・京都で約1か月半に渡り開催致します。

メイン会場

7万5千点を超える国宝を所蔵する



世界文化遺産 京都 醍醐寺

醍醐寺は、874年に弘法大師空海の孫弟子、理源大師聖宝によって開創されました。上醍醐と下醍醐の約200万坪の広大な敷地を有し、京都府内で最古の木造建築の五重塔など国宝75,537点をはじめ、仏像、文書、絵画をはじめとする古代、中世以来の貴重な寺宝は約15万点にも及びます。本坊的な存在の三宝院は、建物の大半が国の重要文化財に指定されており、中でも庭園全体を見渡せる表書院は、桃山時代の寝殿造様式を伝える建造物として、国宝に指定されています。



日本国際芸術祭
 Japan Annual-International Art Festival

日本の伝統的な遊びの一つである折り紙をモチーフに、日本国際芸術祭の目指すものを、伝統と文化、高い技術で折り込まれた芸術でもある折り紙の持つ可能性と重ね合わせ、伝統色である和色で表現しています。



日本国際芸術祭専用ページ▶

<https://yumeshimakikou.org/jiaf2023/>

スケジュール

9/1 >>> 5 >>>> 10 >>>> 15 >>>> 20 >>>> 25 >>>> 10/1 >>> 5 >>>> 10 >>>> 15

企画 A1	公式参加国共創サミット / 夢洲新産業・都市創造機構	9/25
	A2 日本国際芸術祭サミット / 夢洲新産業・都市創造機構	10/4
	B1 大阪関西万博テーマ事業(石黒館) プレイベント in 醍醐寺 / 石黒 浩	9/28-10/1
	B2 五感の遊び場 醍醐寺クラゲFestival ~全ての人は芸術家である~/ 中島 さち子	10/1
企画 B3	Phantom Resonance: 「百鬼夜行と計算機自然」 / 落合陽一	9/3-10/15
	B4 残照 / EiM (Eternity in a Moment)	9/22-10/7
醍醐寺 特別企画 C1	非公開国宝や重要文化財公開と特別体験 / お茶体験	9/23
	C2 非公開国宝や重要文化財公開と特別体験 / 写経と瞑想体験	9/24
	C3 非公開国宝や重要文化財公開と特別体験 / 修行食	10/14
	C4 非公開国宝や重要文化財公開と特別体験 / 護摩参座	10/15
醍醐寺 内イベント 特別企画 D1	いのちの共創 醍醐寺展 / 夢洲新産業・都市創造機構	9/1-10/8
	E1 Commons garden 新たな時代の新たな表現 / 梅野 星歩	9/1-10/15
	E2 過去現在未来 図屏風~現代アート × 屏風~/ 玄	9/1-10/8
	E3 明るい未来の守り神 ライブペイント	ライブイベント 9/9、10 展示 9/9-10/8
	E4 ひろしま安芸高田神楽 / 安芸高田神楽協議会	9/2
	E5 いのちの能 慈愛~魂のゆくえ Tradition for a better future/ 山本能楽堂	9/4
	E6 イマーシブの祈り~太閤秀吉が見た醍醐の景色 / フォレストデジタル	9/16-9/24
	E7 地球オルガンプロジェクト: キッツキマシーン / 水脈地脈 / サキタハチメ	9/23-10/10
	E8 日本酒フェア / 一般社団法人おらがまち	9/30-10/1
	E9 2023年チェルシーフラワーショーゴールドメダル獲得記念展示 / 石原 和幸	9/30-10/8
特別企画 E10	みんなちがってみんないい! アート&ミュージックワークショップ / 株式会社フェリシモ × 株式会社ソーミュージックエンタテインメント	9/16
	E11 いのちをはぐくむ アート展 / 夢洲新産業・都市創造機構	9/22-28
参加 企画 特別企画 F1	SHOSA:Future Dialogue	10/5-10/8
	F3 OKASHI EXPO JAPAN 第一回企画シン・NIPPONのお菓子 / 夢洲新産業・都市創造機構 会場 阪急うめだ本店	9/20-9/25
	F4 洛宙 KANSEI アート展京都イベント「洛宙特別対談」 / 洛宙アート展実行委員会 会場 御寺泉湧寺	10/7
	G1 次世代リーダー育成事業事業企画スペシャリスト養成講座2023第一回 / 石川 勝	10/13
連携 企画 ※期間中の定休日 はホームページ 等でご確認ください。	G2 フィールドミュージアム琵琶湖疏水 / 琵琶湖疏水記念館	6/20-12/24
	G3 田中一光ポスター展 舞台と文字のぞき穴から / 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	7/3-9/9
	G4 おこしやす、古墳時代へ / 京都市考古資料館	7/8-11/19
	G5 ふあん・ファン・FUN ~扇子いいね / 嵯峨嵐山文華館	7/14-10/9
	G6 竹久夢二のすべて~画家は詩人でデザイナー / 福田美術館	7/14-10/9
	G7 西陣織でつむぐゴッホと浮世絵 / 西陣織あさぎ美術館	7/27-12/24
	G8 麗しのリバティー 花柄パターンの魅力 / 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	8/7-9/9
	G9 比べてみよう! シリーズ物における表現の違い / 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	8/7-9/9
	G10 河井武一・透・亮輝三代展 京都民衆の系譜 / 京都陶磁器会館	9/1-9/13
	G11 泉屋ビエンナーレ 2023 Re-sonation ひびきあう聲 / 泉屋博物館	9/9-10/15
	G12 第27回 京都の秋 音楽祭 / 京都コンサートホール	9/10-11/26
	G13 第一回サキシマビプリオバトル / 西尾レントオールR&D国際交流センター	9/14
	G14 陶工彩~8人の若手作家による今~/ 京都陶磁器会館	9/15-9/27
	G15 ムックとおしゃべりですぞ -大阪・関西万博と SDGs- 第28回 / YouTube	9/20
	G16 京都 SDGs コンソーシアム / 京都里山 SDGs ラボ	9/23
	G17 京都国際マンガ・アニメフェア2023 (京まふ) みやこめっせ / ホームシアター他	9/16、17
	G18 職人の道具展 / 京都伝統産業ミュージアム	9/23-10/22
	G19 京菓子資料館企画展 お菓子が目にした時代 / 京菓子資料館	9/23-12/19
	G20 初代諏訪蘇山展 / 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	9/25-10/28
	G21 文化庁移転記念事業 「御池茶会」 / 京都市役所本庁舎	9/23-24
	G22 京都国際映画祭 / 京都市内各会場	10/13-15
	G23 大阪府阪南市やぐらパレード / 阪南市役所周辺	10/1
	G24 日常の中のすべての人々に幸せを / 学生団体 Pointillism	開催随時 (会場 大阪府四条畷市田原地域 他)
	G25 常設展示 / 京都国際マンガミュージアム	常設展示
	G26 常設展示 / 清水焼の郷会館	常設展示
	G27 常設展示 / NISSHA 印刷歴史館	常設展示
	G28 常設展示 / 福寿園京都本店	常設展示
	G29 昭阿弥の仕事展 Kiyomizuyaki inherited style / 京都陶磁器会館	9/29-10/11
G30 第11回 天才アート展 2023 特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構ききアトリエ	9/30-10/15	
G31 KYOTO EXPERIMENT 2023 / 京都市内各会場	9/30-10/22	
G32 ARK (Art Rhizome KYOTO アートリゾーム キョウト) / 京都市内各会場	10/1-2024/1/30	
G33 artKYOTO 2023 / 元離宮二条城 二の丸御殿台所など	10/6、8-9	
G34 藝文京コンサート「ピアノの時間」 / 京都芸術センター	9/6	
G35 ダンスダンスレポリッシュ / 京都芸術センター	9/21-24	
G36 FOCUS#5 麥生田兵吾「色堰き空割き息返かかか」 / 京都芸術センター	8/19-9/18	
G37 奥河内音絵巻 2023 地球オルガン実験フェスティバル / ラプリーホール	9/10	
G38 常設展示 (料理教室・体験教室) / 京の食文化ミュージアム・あじわい館	常設展示 (イベント 9/22, 9/24, 9/26)	
G39 墨で日本を世界に伝える画家 momo 展 / be-kyoto	10/7-12	
G40 華麗なるミトオリハルコの美の世界 / MGallery	10/3-13	
G41 ミオいろいろマルシェ / 天王寺ミオプラザ館1F JR天王寺駅公園口前	10/14-15	

メイン企画

A 01 公式参加国共創サミット 夢洲新産業・都市創造機構
9/25(月) 13:00-17:30 会場 霊宝館 ※要申込

Day1 第1回 日本国際芸術祭
第3回 フォーラムからサミットへ
公式参加国共創サミット

夢洲機構にて継続開催中の「公式参加国共創フォーラム」第3回は「公式参加国共創サミット」として開催いたします。公式参加国の代表者から万博への期待や各国のパビリオンをご紹介いただき、世界の国々とアート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を通じて、日本文化の発信や、多様な文化・価値観の相互理解が進み、いのち輝く未来社会を創造する国際的な交流・共創の輪が広がっていきば幸いです。

A 02 日本国際芸術祭サミット 夢洲新産業・都市創造機構
10/4(水) 13:00-17:20 会場 霊宝館 ※要申込

Day2 日本国際芸術祭サミット
Japan Annual-International Art Festival Summit

日本国際芸術祭は、2025年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭です。文化庁が移転し、歴史・芸術・文化の聖地京都、千年の都京都を舞台に開催いたします。いのち輝く未来を拓く日本国際博覧会が開かれる2025年に向けて、第1回を2023年秋に開催し、未来に向けて、日本から世界に発信していきます。本芸術祭のメインイベントとして、「日本国際芸術祭サミット」を開催致します。

2025年日本国際博覧会プロデューサー企画

B 01 大阪・関西万博テーマ事業(石黒館) プレイベント in 醍醐寺 石黒 浩 9/28(木)~10/1(日) 9:00-17:00 会場 三宝院 純浄観

アンドロイド「ERICA」が石黒パビリオンの概要についてスライドを用いて説明します。

石黒 浩 | 2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー「いのちを拓げる」/ 1991年、大阪大学基礎工学研究科博士課程修了。工学博士。2009年より大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻教授。ATR 石黒浩特別研究所客員所長(ATRフェロー)。2017年から大阪大学名誉教授。

B 02 五感の遊び場 醍醐寺クラゲFestival ~全ての人は芸術家である~ 中島 さち子 10/1(日) 12:00-17:00 会場 憲深林苑 ※一部要申込

(0~120歳の)こどもたちを中心に、五感や「創る」を通じて本物に触れ、「創る」喜びを体感し、世界の多様な価値観や文化・視点のあり方に出会えます。

中島 さち子 | 2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー「いのちを拓げる」/ 株式会社 steAm CEO・一般社団法人 steAm BAND 代表理事。音楽・数学・STEAM*教育・メディアアートなどの分野で、国内外で多彩な活動を展開する。著書に『人生を変える「数学」』そして『音楽』『音楽から聴こえる数学』(講談社)他多数。

B 03 PhantomResonance: 「百鬼夜行と計算機自然」 落合 陽一 9/3(日)~10/15(日) 10:00-16:00 会場 霊宝館

大規模言語モデル(LLMs)を使用して、醍醐寺で発掘した歴史ある古道具や古資材が、来訪者に自身の謂れや見聞きしてきた事について語りだす対話型インスタレーションによる展覧会です。

落合 陽一 | メディアアーティスト。1987年生まれ、2010年ごろより作家活動を始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。協賛 (株)サザコーヒー HOME ROASTED SAZA COFFEE SINCE 1969 筑波大学准教授、デジタルハリウッド大学特任教授。

B 04 残照 EIM/ 宮田 裕章 9/22(金)~10/7(日) 10:00-16:00 会場 霊宝館

生命のサイクルを、様々な時間軸の中で表現した空間展示です。一方では色鮮やかに咲き誇る様々な花々がいのちの力と多様な豊かさを、もう一方では枯れた花々が落ち、種子が散りゆく様が表現され、生命の終わりや再生の始まりを描いています。咲く花と枯れた花はそのどちらにも美しさがあり、自身の経験や感情、未来に対する考えを反映させながら、多様な美しさを感じることができるでしょう。

EiM: Eternity in a Moment | データサイエンティストの宮田裕章、写真家・映画監督の蜷川実花、セットデザイナーのEnzoらと結成されているクリエイティブチームである。

特別企画 - アート展

D 01 いのちの共創 醍醐寺展 夢洲新産業・都市創造機構
9/1(金)~10/8(日) 10:00-16:00 会場 霊宝館

様々な技法を用い、独自の世界を表現する10人のアーティスト達による「いのち共創」

参加アーティスト(50音順)
山手 智子 草間 喆雄 倉内 啓 佐伯 和子 半谷 学 藤原 郁三 村田 好謙 八幡 はるみ 山口 和加子 吉田 淳子

E 01 Commons garden 新たな時代の新たな表現 梅野 星歩 9/1(金)~10/15(日) 9:00-17:00 会場 伽藍

社会の課題と希望をナラティブに表現し「人と自然環境」「人と科学技術」「人と命」など様々な境界を共有共感するソリューションアートです。

2023年5月に広島で行われたG7特別会場でも使用した花崗岩は1億年前の大地変動の証であり、4000年前の長崎産硬質砂岩は地球誕生から被爆までの歴史を見届けた軌跡でもある。

E 02 過去現在未来図屏風 ~現代アート×屏風~ 玄 (GEN) 9/1(金)~10/8(日) 10:00-16:00 会場 霊宝館

「アートで世界を変える」を理念に掲げる画家・玄 (GEN) によるアート作品の展示。日本由来のSDGs精神「もったいない」を再生し、六曲一双の屏風に廃材を使用した画材を用いて未来の世界を描きます。

E 03 明るい未来の守り神 / ライブペイント 玄 (GEN) 9/9(土) 13:00-16:00 9/10(日) 10:00-16:00 会場 霊宝館

「アートで世界を変える」を理念に掲げる画家・玄 (GEN) が霊宝館にてライブペイントを行い、明るい未来の守り神を描きます。

上記日程にてライブペイントイベントを実施致します。

ライブペイント作品展示 9/9(土)~10/8(日)

E 04 ひろしま安芸高田神楽 安芸高田神楽協議会
9/2(土) 14:00-16:00 会場 霊宝館

「ひろしま安芸高田神楽」は、きわめて演劇性が高くスピード感にあふれた勇壮な奏楽、豪華絢爛な衣装、そしてわかりやすいストーリーで構成され、現在、広島県安芸高田市で22の神楽団により継承されています。先進七カ国主要会議(G7サミット)の主会場で、各国首脳たちを前に安芸高田市と北広島町の若手が「八岐大蛇」を上演されました。

E 05 いのちの能「慈愛~魂のゆくえ Tradition for a better future」 山本能楽堂 9/4(月) 14:00-15:30 会場 霊宝館

コロナ禍において能が現代社会のために何かができるのか、魂の救済としての能の果たすべき役割について再考察し、醍醐寺で伝えられてきた修験道ならではの力強い声明と共に上演します。

入場料: 7,000円(拝観料を含みます)
インターネット予約 <http://noh-theater.com>

非公開国宝や重要文化財公開と特別体験

お電話または予約サイトよりお申込みください (TEL: 075-571-0002)

C 01 お茶体験 会場 三宝院白書院 予約サイト
9/23(土・祝) 10:00/14:00

非公開エリア、三宝院の重要文化財白書院で僧侶の話聞きながら、仏道や茶道から日常生活でも役立つ作法などを体験。茶道や日本の文化に根付いている人へのおもてなしの心は、日ごろ生活する上での礼儀作法にもつながります。 料金 3,000円



予約サイト



C 02 写経と瞑想体験 会場 白書院と霊宝館 予約サイト
9/24(日) 13:00-15:30

非公開エリア、三宝院の重要文化財白書院での写経体験。「高王十句観音経(こうおうじゅっくかのんぎょう)」や外国人も参加しやすい「一字写経」など。また、醍醐寺の宝物館霊宝館、宇宙法要に参座の後、国宝や重要文化財に囲まれる霊宝館内で瞑想を体験。 料金 2,500円



予約サイト



C 03 修行食 会場 三宝院白書院 予約サイト
10/14(土) 11:00-13:00

修行僧が食事をする時に用いるお経の中にある「五観の偈」をお唱えし、また、修行僧と同じ食事を体験することで、お食事をするこの意義や日本の食事の作法を学びます。 料金 6,000円



予約サイト



C 04 護摩参座 会場 不動堂護摩道場 (史跡醍醐寺境内)
10/15(日) 14:00-15:00

史跡醍醐寺内にある不動堂護摩道場に於いて、人々の心への安心(あんじん)を祈る柴灯護摩(さいとうごま)へ参座。「護摩」は、諸々の願いの成就を祈る真言密教の秘法です。中でも柴燈護摩(さいとうごま)は屋外で行う大規模な護摩法要のことで、修験道の秘法でもあります。



E 06 イマージブの祈り〜太閤秀吉が見た醍醐の景色 フォレストデジタル株式会社
9/16(土)〜9/24(日) 10:00-17:00 会場 三宝院・純浄観



醍醐寺の魅力空間型VRサービス uralaa(うらら)で没入体験。「醍醐の花見」に縁のある「純浄観」で太閤秀吉が見た醍醐寺の景色を再現し、360°祈りの空間を実現。テクノロジーとの共創による醍醐の美と歴史をご体感ください。

E 08 日本酒フェア (一社) おらがまち
9/30(土) 11:00-16:00 10/1(日) 10:00-15:00 会場: 雨月茶屋前



たる出版は日本国際芸術祭を支援します。秀吉醍醐の花見では全国の武将が地元の酒を醍醐寺に持ち込んで花見の宴をしたという故事に倣って「日本酒フェア」を開催。各蔵元が特設ブースにて自慢の逸品を販売、国内外に情報発信します。

E 10 みんながってみんないい!アート&ミュージックワークショップ ㈱ フェリス× ㈱ ソニー・ミュージックエンタテインメント
9/16(土) 10:00/13:00 会場 霊宝館



脳を活性化する「臨床美術」をベースとした、「自由に絵を描く」アートプログラム「リンビーアート」。さらに誰にでも演奏できてすぐに合奏できる「ゆる楽器」の演奏を体験。下手、上手いという概念なく、誰もが自分らしい表現と多様性を楽しめるアートワークショップです。 ※要申込

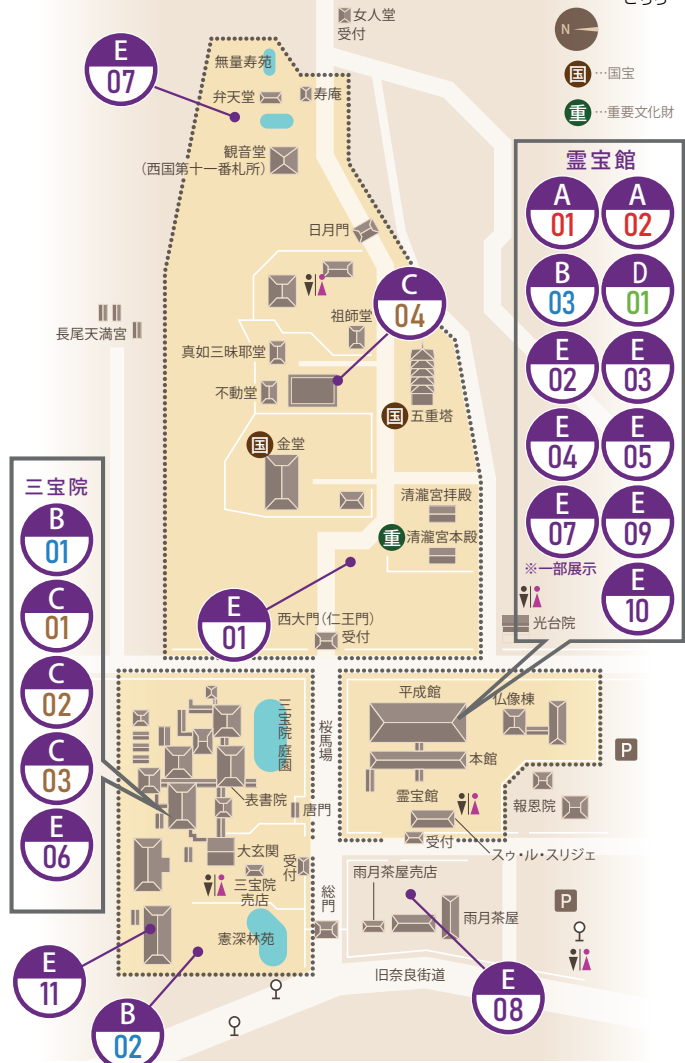
E 11 いのちをはぐくむ アート展 夢洲新産業・都市創造機構
9/22(金)〜9/28(木) 9:00-17:00 会場 修証殿



書道家 永山 玳潤 妖怪書家/書家 逢香
他、参加者 (株) アッシュ/NFTクリエイターズフェスギャラリー 榎本 響/Genky

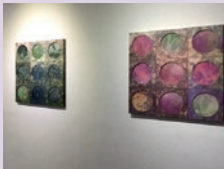
世界文化遺産 京都 醍醐寺

※入場には拝観料が必要です。↑上醍醐 ※一部、段差や階段がございます。




醍醐寺へのアクセスはこちら

雨山 智子 出品作品 「Circle I. II」



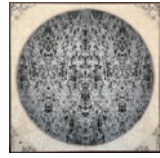
インクジェット出力による写真プリントの布と手捺染の布を組み合わせた作品の新しい形。くり抜いた紙に布を貼って、組み立てていくことで奥行きをつくり出しています。ひとつひとつの円の中の光景が様々であり、これまで重ねてきた「時」を表現しています。

草間 喆雄 出品作品 「HOKO」



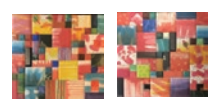
京都祇園祭をテーマに、糸布・コイリング技法を使用し制作しました。
近年の受賞歴：2013 年 マルセン文化賞 / 2014 年 第8回国際ファイバーアートビエンナーレ展銀賞・中国 / 2015 年 岡山芸術文化賞 グランプリ / 2022 年 岡山県文化賞

倉内 啓 出品作品 「花の宴」 (二曲型絵染屏風「輪櫻」、他5点)




「枝垂れ桜」をモチーフとした型絵染屏風作品だけを集めました。モチーフや技法は同じなのですが、その時々思いや出来事に影響された、それぞれが全く違う表現になっている姿も楽しんでいただければと思います。国宝薬師三尊像様のお膝元で展示できる喜びを感じております。

佐伯 和子 出品作品 「布から紙へ」




廃棄繊維からつくるコットンパウダーと和紙素材をミックスして作ったハイブリッド因州和紙を使った作品です。
色と質感にこだわったタピストリーを、ホテルや病院などの公共空間に多数展開しています。

半谷 学 出品作品 「華曼荼羅 flower mandala」



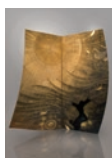
社会から見捨てられたものを独自の技法で蘇らせた材料で作品を制作しています。この度は、総本山醍醐寺にも宝物として収蔵されている「曼荼羅」の世界観を私なりに表現致しました。
作品材料：再生材料 (イグサの端材、麻ロープの廃材、古紙)、顔料、木製パネル

藤原郁三 出品作品 「陶彫邪鬼三部作」



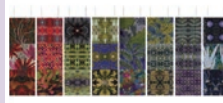
「邪鬼」は仏教彫刻における脇役である。始めは四天王の眷属でありながら、足元に踏みつけられている姿から仏敵の象徴として鬼の姿に変えさせられた。四天王から解放して、古代インドのヤクシャー神へ戻したいと願い造形している。邪鬼を自然に返すべく穴窯による自然釉で焼成。

村田 好謙 出品作品 「光に包まれて」




天空から降り注ぐ光と水に育まれる生命。儚くも散りゆく花びら。しかし再び水から芽を吹き出し、やがて光を目指して咲き誇る大輪の蓮の花。レリーフで表現した光を金色に、対して水の部分は、あえて奥深く美しい漆黒に宇宙の様な果てしない空間の広がりを見出し、螺旋で強調しました。素材：木、麻布、漆、鮑貝、金箔、他

八幡 はるみ 出品作品 「GARDEN202309」 他4作品




伝統から先端までの様々な染色技法を用いて意匠を重ねていく表現的な美術作品を発表しています。同時に衣服や着物、その他のプロダクトも手がけ、染色が持っていた同時代生や新奇性、楽しみを取り戻すことをめざして活動しています。
※一部の展示は9/28 (木)までとなります。

山口 和加子 出品作品 「森のオブジェ」



和紙・紙糸・ワイヤーで作った葉のような形をひとつのモチーフとして並べて、構成しています。森の木々、葉や花が重なって、さらさらとさわやかな風が吹いてくるような空間を表したいと思いました。
2023 年 9 月 20 日~10 月 2 日 新作展 出品

吉田 淳子 出品作品 「波のかたち Wave Shape」



和紙を使って制作しています。和紙は染色する色によってどのような色にも変えられ仕上がりに違いを感じ、その変化に驚かされています。この作品は、一本づつひねることによって和紙の強さや柔らかさを表し、自然が作り出す湖面のかがやきや美しさを波のかたちに表現しました。

参加企画 醍醐寺以外の会場

F 01 SHOSA:Future Dialogue アンドロイドアバターによる心の表現
10/5 (木) - 10/8 (日) 10:00 - 17:00 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
ATR (株式会社 国際電気通信基礎技術研究所)



石黒浩が特別研究所客員所長を務めるATRでのインスタレーションです。「所作」とは、日本の文化において培われた、身体と心とを結びつけ、相手と自分を調和させるための暗黙のコミュニケーションです。私たちは、この「所作」を現代において進化させ、相手や環境との関わりの中で、豊かな心の表現を生み出すことを目指しています。この進化した「所作」を「SHOSA」と呼びます。「SHOSA」は、人間だけでなく、ロボットなどあらゆる「いのち」との関わりの中で、多様で豊かな心を表現します。本インスタレーションでは、来場者やアンドロイドアバターの動きに応じて、そこに現れる「SHOSA」を、連続的に変化する音や光で表現します。この「SHOSA」を獲得する能力は「身体知」と呼びます。来場者は、本インスタレーションを体験することで、自らの「身体知」を発展させます。来場者は、アンドロイドアバターと体の動きを通じた対話の中で、自らの「身体知」を発展させ、「SHOSA」を獲得し、自らを進化させるのです。




▲お申込みはこちら

F 03 OKASHI EXPO JAPAN 第1回企画 「シン・NIPPONのお菓子」
9/20 (木) - 9/25 (月) 10:00 - 20:00 夢洲新産業・都市創造機構
※最終日は午後6時終了 会場：阪急うめだ本店9階催事場 大阪府大阪市北区角田町8番7号



創業当時の技を受け継いだ職人により生み出される新作お菓子をお披露目
【第1回参加お菓子会社 (日本青年会議所菓子部会)】
なごみの米屋 / 落雁諸江屋 / 菊家 / 春華堂
創業 嘉永餅 / 東京ラスク / 岡山夢菓匠敷島店
青木松風庵 / 讃岐三白 / りくろーおじさんの店

F 04 洛宙KANSEIアート展京都プライベート「洛宙特別対談」
洛宙アート展実行委員会
10/7 (日) 12:45 - 14:15 御寺泉涌寺 (京都市東山区泉涌寺山内町)



世代やジャンルを超えたアーティスト達が日本の歴史ある建築空間に個性あふれる作品を展示し、新たな表現で日本の伝統美を京都から世界に発信。今年は本展に先駆けて洛宙展キュレーターと出展作家、泉涌寺様を交えての対談を行います。対談後には、当日泉涌寺の舍利殿 (通常非公開) で執り行われる「舍利会宿忌法要」にもご参列いただけます。

G01 次世代リーダー育成事業 事業企画スペシャリスト養成講座 第一回 石川勝
10/13(金) 世界文化遺産 京都 醍醐寺 時間調整中 ※2023年10~11月全5回

過去に学び未来を予測する思考力と、他者に共感を与え行動を促す表現力を備えた「企画力」を備え、事業企画のスペシャリストとして社会を動かすことのできる若手人材を育成するために、「事業企画スペシャリスト養成講座2023」を開講致します(要申込)

G02 フィールドミュージアム琵琶湖疏水〜鴨川運河の誕生〜京都・伏見をつなげた水の路〜 琵琶湖疏水記念館
6/20(火)-12/24(日) 9:00-17:00 京都市左京区南禅寺草川町17

「鴨川運河」は琵琶湖疏水第1疏水のうち、鴨東運河の鴨川合流点から伏見区堀詰町までの全長約9kmの運河です。大津から大阪までの舟運を開通するうえで、疏水を淀川に接続するための重要な区間でした。本特別展では、「鴨川運河」の誕生から現在までの歴史を、貴重な資料とともにご紹介します。

G03 田中一光ポスター展 舞台と文字ののぞき穴から 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
7/3(月)-9/9(土) 10:00-17:00 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

戦後日本を代表するグラフィックデザイナーである田中一光の仕事で、学生が選んだ代表的なポスター約60点を並べ紹介します。田中が生涯に渡って手がけた舞台公演のポスターから彼のデザインスタイルを浮かび上がらせ、さらにそこから田中の独自の文字使いへと切り込んでいこうとする企画です。

G04 おこしやす、古墳時代へ 京都市考古資料館
7/8(土)-11/19(日) 9:00-17:00 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1

およそ3世紀から7世紀にかけて、日本列島の各地で、巨大な前方後円墳をはじめとする古墳が多数築造された古墳時代。この時代の京都の様子はどうだったのでしょうか。この展示では、発掘調査で得られた出土品や遺跡の写真パネル等を通じて、古墳時代の京都に暮らした人々の生活の変化、生産活動、戦争、祭祀や墓制、渡来文化の痕跡等をご紹介します。

G05 ふあん・ファン・FUN ~扇子いいね 嵯峨嵐山文華館
7/14(金)-10/9(月・祝) 10:00-17:00 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11

京扇子の老舗「白竹堂」ご協力のもと、近世から現代にかけてつくられた様々な扇や、扇・団扇が描かれた日本画や、有名棋士が揮毫したりミュージシャンが絵筆を走らせたりした扇子の数々を展示します。扇子の制作工程も併せてご紹介します。

G06 竹久夢二のすべて〜画家は詩人でデザイナー 福田美術館
7/14(金)-10/9(月・祝) 10:00-17:00 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16

2024年に生誕140年、没後90年を迎える画家、竹久夢二の回顧展です。関西でコレクションがまとまって公開されるのは約30年ぶり。夢二ファンはもちろん、老若男女を問わずお楽しみいただけます。※MBSテレビ、京都新聞との共催となります。

G07 西陣織でつむぐゴッホと浮世絵 西陣織あさぎ美術館
7/27(木)-12/24(日) 10:00-17:00 京都市下京区烏丸通仏光寺上ル661 ユカスクエア

今なお世界中の人々を魅了し続ける、ポスト印象派の画家、フィンセント・ファン・ゴッホのチューブから絞り出したような、特徴的なペイントタッチを西陣織で表現しております。併せてゴッホが憧れ、模写までした浮世絵の作品も西陣織で表現しております。

G08 麗しのリパティー 花柄パターンの魅力 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
8/7(月)-9/9(土) 10:00-17:00 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

20C初、京都高等工芸学校の教材として収集された様々な西洋の生地サンプルのなかから、ロンドンのリパティ社による優美な花柄パターンを中心に、イギリスのファブリックデザインの一部を紹介する。

G09 比べてみよう！ ―シリーズ物における表現の違い 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
8/7(月)-9/9(土) 10:00-17:00 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

美術工芸資料館所蔵のポスターから、ヒロシマアピールズ、パリ日本文化会館開館というふたつのシリーズをとりあげて、ひとつのテーマに対して複数のデザイナーがどのような表現をとるか进行比较できるような展示。

G10 河井武一・透・亮輝 三代展 ― 京都民窯の系譜 ― 京都陶磁器会館 2F ギャラリー
9/1(金)-9/13(水) 10:00-18:00 京都市東山区東大路五条上ル遊行前町583-1

河井武一は、叔父である河井寛次郎より薫陶を得て、京都・亀岡市に南丹窯を築き、その技を後世に継承してきました。二代目河井透は、父武一・大叔父寛次郎に師事、技術とその精神を独自の作風に落とし込み、三代目河井亮輝は、河井家が培ってきた技術と精神をもとに、幅広く作品を手掛け、現代の民藝作家として作陶を続けています。

G11 泉屋ビエンナーレ 2023 Re-sonation ひびきあう聲 泉屋博古館
9/9(土)-10/15(日) 10:00-17:00 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24

約3000年前の中国古代青銅器からインスピレーションを受け、新進気鋭の鑄金作家10名が新作を制作、おなじ展示会場内に陳列することで、時空を超えた対話を体験いただける刺激的な空間を演出いたします。はるか古代から連続とつづく鑄金の技術はどこからきて、そしてどこへと向かっていくのか。ひびきあう聲と聲のなかから生まれる、鑄金芸術の最先端をお見逃しなく。

G12 第27回 京都の秋 音楽祭 京都コンサートホール
9/10(日)-11/26(日) 京都市左京区下鴨半木町1番地の26

京都市では、公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団との共催により、京都が世界に誇る「文化芸術都市」であることを国内外にアピールするため、国内外の著名な演奏家や、京都にゆかりのある演奏家たちが出演する多彩な音楽祭「第27回 京都の秋 音楽祭」を開催します。

G13 第1回 サキシマビブリオバトル in 西尾レントオール R&D 国際交流センター 西尾レントオールR&D 国際交流センターA棟2F ラウンジ
9/14(木) 18:30~ 大阪市住之江区南港北1-12-75

あなたの推し本を語って！ 知的書評合戦 参加者募集中 第一回サキシマビブリオバトル in 西尾レントオール R&D 国際交流センター

ピブリオバトルは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに全国に広がり、小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団楽などで、広く活用されています！ 申込は <https://forms.office.com/r/Yu634ZRnRqY>

G14 陶工彩 ― 8人の若手作家による今 京都陶磁器会館 2F ギャラリー
9/15(金)-9/27(水) 10:00-18:00 京都市東山区東大路五条上ル遊行前町583-1

京都府立陶工高等技術専門校の図案科(現やきものデザイン科)にて学び、卒業してから早6年。私たちは京焼を学びましたが、現在制作している作品はその限りではありません。京都、兵庫、佐賀、愛知、石川など全国各地で培った技術が再び京都に集まります。同じ技術を学んだ者が各々のフィルターを通して自由な発想のもと生み出した新しい陶芸。ご覧いただけますと幸いです。

G15 **ムックとおしゃべりですぞー大阪・関西万博とSDGsー第28回**
西尾レントオール株式会社
9/20(水)12:00~YouTubeにて公開

ムックとおしゃべりですぞー大阪・関西万博とSDGs-第28回(ゲスト:タナベコンサルティング・なわてオクトーバーフェスト実行委員会)
「EXPO PLL Talks」は、会期前から多様な有識者がそれぞれの立場からテーマに関する取組を国内外に発信し、万博を共に創り上げていく場として開催するオンライントークイベントです。

G16 **EXPO2025に向けた海のSDGs会議**
京都超SDGsコンソーシアム 京都里山SDGsラボ ことす&オンライン
9/23(土・祝)11:15-16:50 京都市右京区北山周山町下寺田11 元京北第一小内

海の課題を「食・ごみ・技術&イノベーション」という側面から取り上げ、幅広いステークホルダーに参画頂き、解決を加速するための場を試行・創出します。2025大阪・関西万博を契機に、飛躍することを目指し、そのキックオフの場にてできればと考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

G17 **京都国際マンガ・アニメフェア 2023 (京まふ)**
みやこめっせ/ロームシアター京都 ほか
9/16(土)-9/17(日) ※会場・時間はホームページをご確認ください <https://kyomaf.kyoto/>

出版社やテレビ局、映像メーカーなどが最新作のPRやグッズ販売、ステージイベントなどを開催。京都市内におけるクリエイター支援や、産業・観光振興、コンテンツ都市・京都としてのブランド向上にも繋がる、総合的な取組で成長しました。12回目の本年は、文化庁移転記念事業として開催するとともに、大阪・関西万博を見据え、国内外への情報発信・ブランド向上にも取り組みます。

G18 **職人の道具展**
京都伝統産業ミュージアム(京都市勤業館みやこめっせ地下1階)
9/23(土・祝)-10/22(日)9:00-17:00 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

伝統工芸のものづくりの中にはたくさんの道具が存在します。そんな道具たちは、日々のものづくりの中で職人の五感を拡張させ、緻密で繊細な装飾技術や見るものの心を奪うほどの美しさを放つ感性を生み出してきました。本展では「職人が使う道具」「職人が作る道具」を集め、職人の技術と感性を生み出す相方とも言うべき道具の魅力と、道具を作る職人の減少などの課題を紹介します。

G19 **お菓子が目にした時代**
京菓子資料館
9/23(土・祝)-12/19(火)10:00-17:00京都市上京区烏丸通上立売上ル柳御子町331-2

京菓子資料館では、常設展示で「和菓子のあゆみ」を紹介していますが、本展示では目線を変え、お菓子が見た景色を時代ごとに紹介します。お菓子と共に歩むひと時を楽しんで頂き、その魅力を知って頂ければ幸いです。一階呈茶席では、展示で紹介したお菓子など、お抹茶と一緒に楽しみいただけます。

G20 **初代諏訪蘇山展ーよみがえる革新技法ー**
京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
9/25(月)-10/28(土)10:00-17:00 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

明治時代に金沢・京都で活躍した陶芸家初代諏訪蘇山の作品と諏訪家に伝承する「型」および、Kyoto Design Lab. で三次元スキャナ等を使用して復元した「型」を展示して、初代諏訪蘇山の作品制作に迫る展示。

G21 **文化庁移転記念事業「御池茶会」京都市役所本庁舎**
9/23(土・祝)・9/24(日)
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488

京都市役所本庁舎(和室・正庁の間など)を会場に、「御池茶会」と題した茶会を開催します。京都の学生(大学生・短大生)が席主を務める、初心者でも参加しやすいお茶会です。当日は、京都の伝統文化に親しんでいただけるよう、本庁舎内にて、KYOTO Sustainable Network による生け花の展示、トークイベント及び箏・小鼓などの演奏を実施します。

G22 **京都国際映画祭** 主催: 京都国際映画祭実行委員会
京都市内各会場 10/13(金)-10/15(日) 運営: 株式会社きょうのよしもと

「京都国際映画祭」は2014年より「京都映画祭」から引き継いだ伝統と志を重んじ、「映画もアートもその他もぜんぶ」をテーマに「新しいモノ・コト」にも積極的に取り組んできました。第7回からはオンラインとリアル、ハイブリッドの映画祭として開催しています。 <https://2023.kiff.kyoto.jp/>

G23 **大阪府阪南市やぐらパレード**
10/1(日)16:00-19:00 阪南市役所周辺 大阪府阪南市尾崎町35-1

阪南市内の約20台のやぐらが、市役所前一堂に集結するやぐらパレードを開催します。各地区で異なる山車の木彫や幕、曳行の様子が見どころです。また、パレードの一週間後に開催される祭礼は100年以上の歴史がある伝統文化です。さらに、今年は阪南市商工会の産直施設「匠のippin」が、やぐらパレード同日にオープン。見て楽しんだ後はお土産選びもお楽しみください。

G24 **日常の中のすべての人々に幸せをー農業体験を通したコミュニティづくり**
学生団体 Pointillism
大阪府四条畷市田原地域 他 ※開催日時・会場はインスタグラムでご確認ください

私達は「日常の中のすべての人々に幸せを」という理念を持ち、現在大阪府四条畷市田原地域で半年に渡る農業体験や、栽培・収穫・季節ごとのミニイベントを通して、新たなコミュニティを形成します。イベントの最終局面には、ご参加の皆様自ら育てた食材をお召し上がり頂きます。更に9月からは大阪府吹田市でもコンテンツやイベントをバージョンアップし農業体験を行っていきます。

G25 **常設展示**
京都国際マンガミュージアム
10:30-17:30 京都市中京区烏丸通御池上ル

「マンガって何?」という疑問に対応した、マンガを歴史や社会・産業等、各分野別に理解できる展示を常設しています。また、会場の壁面には、大正期から2005年までの各マンガ賞受賞作を中心とした各時代の名作マンガ本を集めた書棚「マンガの殿堂」を展開しています。※10/26(木)~アフリカマンガ展 - Comics in Francophone Africa 開催

G26 **常設展示**
清水焼の郷会館
9:00-17:00 京都市山科区川田清水焼団地町10-2

2013年10月「京焼・清水焼芸館」が「清水焼の郷会館」に名称を変更し移転いたしました。陶芸作家らの展示スペースを備え、清水焼団地協同組合の事務所と工房も付設しておりアンテナショップとしての役割を充実させました。手技を結集させた陶工達の個性あふれる作品は、季節ごとに、また展覧会ごとに様々な顔を見せてくれます。京焼・清水焼の美の競演を、郷会館にてぜひご堪能ください。

G27 **常設展示 ※要事前予約**
NISSHA印刷歴史館
10:00-17:00 京都市中京区壬生花井町3番地

NISSHA 印刷歴史館には、4000年前の楔形文字粘土板や百万塔・無垢浄光陀羅尼經、解体新書初版本、ゼネフェルダー石版印刷機、ハイデル活版印刷機などの実物や、ゲーテンベルク印刷機(複製)、4行聖書(ファクシミリ版)など、印刷の起源から近代に至るまでの大変貴重な資料を展示している。

G28 **常設展示 ※営業時間・定休日はフロアによって異なります。ホームページでご確認ください。**
福寿園京都本店(福寿園京都ギャラリー)
11:00-18:00 京都市下京区四条通富小路角


1790(寛政2)年創業の老舗茶舗・福寿園の京都本店の内装は「京の庭」がテーマ。尼崎博正教授の設計で、各階に茶の心を表現した坪庭が設けられている。「京の技」としては、人間国宝の近藤悠三氏(染付陶器)をはじめとする作品が各階に納められており、いわば、建物全体がギャラリーといえる。

G 29 「昭阿弥の仕事展 Kiyomizuyaki inherited style」
 京都陶磁器会館 2F ギャラリー
 9/29(金) - 10/11(水) 10:00 - 17:00 京都市東山区東大路五条上ル遊行前町583-1



昭阿弥窯は今年で開窯より 93 年となります。初代が柴田如阿弥に師事し独立後、煎茶道具を制作。二代目に入り割烹食器やその他の品物を染付、色絵、赤絵、交趾等の技法を用い作陶して参りました。初代が師より受け継いだものを継承、変化させながら現在まで繋がった「清水焼」をご覧ください。

G 31 KYOTO EXPERIMENT2023
 京都市内各会場
 9/30(土) - 10/22(日) 京都市京セラ美術館 ロームシアター京都 他




世界各地の実験的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しいかたちの対話でつなぐことを目的に京都市内各会場で演劇やダンス等の公演を実施。2023 年は「まぜまぜ」をキーワードに、言語、アイデンティティ、文化の混ざりあいを目を向けた、世界各地の実験的な舞台作品を上演します。

G 33 artKYOTO2023
 元離宮 二条城 二の丸御殿台所など 京都府京都市中京区二条城町541
 10/6(金)・10/8(日) 12:00 - 19:00 10/9(月・祝) 11:00 - 16:00




artKYOTO、5 年目となる本年は、国内のギャラリーだけでなく、日本インドネシア国交樹立 65 周年を記念し、インドネシアからアーティストの招聘を予定しております。また、インバウンド観光客の誘客向上にも取り組み、千年を超えて日本の都であり、文化庁が全面的移転した京都から、世界へ向けアートの可能性を発信いたします。

G 35 ダンスダンスレボリューションズ
 京都芸術センター 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
 9/21(土)・22(金) 19:30 - 9/23(土・祝)・24(日) 14:30 -



2019 年より継続して協働を行なう劇作家・松原俊太郎と二人組の舞台作家・小野塚加中澤瞬スペースノットプランク。五度目の協働となる京都芸術センター Co-program 2023 に選ばれた企画「不自由な言葉を離す身体」では、戯曲の執筆と舞台の構築の関係性を再考するべく、制作の最初から作者と演出者が一堂に会してクリエイションを実施する。

G 37 奥河内音絵巻 2023 地球オルガン実験フェスティバル
 ラブリーホール
 9/10(日) 11:00 - 大阪府河内長野市西代町12-46



今年の音絵巻は、「音で遊びたおす!!」河内長野と世界の様々な音が出会い、共鳴し、体験し、五感をフルに使って楽しめる、万博先取りなフェスティバル!!
 TEAM EXPO 2025 プログラム / 共創チャレンジ『地球オルガンプロジェクト』〜世界の森を音で繋ぐ。

G 39 墨で日本を世界に伝える画家 momo 展
 be-kyoto 京都市上京区新町通上立売上る 安楽小路町 429-1
 10/7(土) - 10/12(木) 10:00 - 17:00




筆ペン・墨・ボールペンなどを使用し日本の景色や文化を描く。フランス・オランダ・ベルギーなどで個展・グループ展・イベント等に参加。2023 春 BIFFE (Brussels International fantasy film festival) アート部門優勝。今回の展示は主作品である風景画と sustainable art “ENSO”。日本に拠点を移して初めての展示会となる。

G 41 ミオいろどりマルシェ
 天王寺ミオ プラザ館 1F JR 天王寺駅公園口前
 10/14(土) - 10/15(日) 11:00 - 17:00 大阪市天王寺区悲田院町 10-48




Irodori 和 문화発信プロジェクトのスタッフ、運営陣は子供がいるママさんです。日本の文化を子供たちに伝え、日本に住む私達が日本の素晴らしい技術や文化に気づき、職人さんが次世代に技術を繋ぐ場作りができればいいな、とプロジェクトを立ちあげました。今回は日本の食品販売や自然素材を使用した遊びのワークショップなどを行います。

G 30 第 11 回 天才アート展 2023 オープンスタジオ
 天才アート KYOTO きたアトリエ
 9/30(土) - 10/15(日) 11:00 - 17:00 京都府京都市北区紫野西舟岡町 2




制作の場であるアトリエ内に登録作家 40 余名の作品を一室に展示し、作家の制作の様子が読み取れる、臨場感あふれる展示会は、ギャラリー展示とは違う面白さがあります。なお、「OPEN STUDIOS」としてアトリエを会場に開催するのは今展が最後となります。皆さまの来展を心よりお待ちしております。

G 32 ARK (Art Rhizome KYOTO アートリゾームキョウト)
 京都市内各会場
 10/1(日) - 2024/1/30(火) Cafe ふふふあん 他 市内 5 カ所




京都市では、若手芸術家等の活動環境の向上とアート市場の活性化を図るための取組を進めています。「ARK(Art Rhizome KYOTO)」では、京都市内の宿泊施設やカフェ等で、京都にゆかりのある若手芸術家等の作品の展示・販売を行います。

G 34 藝文京コンサート「ピアノの時間」
 京都芸術センター
 9/6(水) 18:00 - 18:40 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2




京都芸術センターにあるグランドピアノの演奏を中心にしたコンサート。京都芸術センター開設時(2000 年)にやってきた KAWAI のピアノと、明倫小学校から受け継がれた 100 歳を超える PETROF 社(チェコ)のピアノが登場します。それぞれの個性と音色、元小学校のノスタルジックな雰囲気と共に楽しんでください。

G 36 FOCUS#5 麥生田兵吾(むぎゆうたひょうご)
 色堰き空割き息返かかか(いろせきそらさきいきかえかかか)
 京都芸術センター 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
 8/19(土) - 9/18(月・祝) 10:00 - 20:00



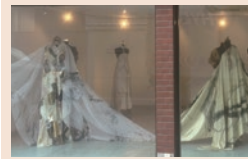
近年の AI が作るフェイク画像の発明は、視覚的なイメージが実在の世界の「写し」である素材に信じることの出来ない状況を作り出しました。視覚的イメージの変容は、私たちが抱く世界像をも変容させるでしょう。麥生田は、こうした状況の内側で、私たちの感性や認識を批判的に捉え返します。写真によって、私たちの認識と感性のあり方を探究してきた麥生田が作る展示空間の中で、私たちは何を見るのでしょうか。

G 38 常設展示 (料理教室・体験教室は要予約)
 京の食文化ミュージアム・あじわい館
 8:30 - 17:00 京都市下京区中道寺南町130 京都青果センター3F



当館では「見る」「つくる」「あじわう」をテーマに、京都の食文化に関する展示、試飲、毎月開催している料理教室(有料)などが体験できます。展示室の見学は予約不要、入場無料です。団体のみなさまには様々な体験コースをご用意しておりますので是非お気軽にご来館ください。

G 40 華麗なるミトオリハルコの世界 -ミトオリハルコの幽玄の世界-
 MGallery 大阪府大阪市北区西天満 1-2-23 北浜ミトオリビル 1F
 10/3(火) - 10/13(金) 13:00 - 18:00



オートクチュールファッションデザイナー、ミトオリハルコのアーカイブから現在に至るまでの展示です。日本の伝統的な着物の素材のイメージと日本の墨をインスピレーションにした手書きの大胆な、一筆書きのものを和のテイストを取り入れながら、モダンにコンテンポラリー的なアーティストチックな着物ドレスへと変化させています。

プラチナ協賛

宝塚歌劇

阪急阪神東宝グループ

幕が上がる、夢が始まる。



©宝塚歌劇団

TAKARAZUKA Revue

宝塚大劇場 東京宝塚劇場

阪急宝塚駅下車
(営業時間/10:00~18:00 月曜定休)

JR有楽町駅、東京メトロ・都営地下鉄日比谷駅下車
(営業時間/10:00~18:00 月曜定休)

●お問い合わせ TEL.0570-00-5100

※一部の携帯電話、IP電話等からはご利用いただけません。

【宝塚歌劇公式ホームページ】<https://kageki.hankyu.co.jp/>

シルバー協賛



木と生きる幸福



住友林業



OMRON

Empowering People Through Automation

オムロンは、人が活きるオートメーションでソーシャルニーズを創造しつづけ、個人の幸せと豊かな社会が両立する未来をつくります。ちょっとワクワクしませんか？



投資の未来を切り拓く

岩井コスモ証券

的確な投資アドバイスと
ライフプランのご提案で
お客様の「満足」を実現する

対面取引

最適なシステムを取り揃え
シニア世代を
しっかりとサポートする

ネット取引

資産管理から運用まで
専任担当営業員が
トータルにサポートする

コール取引

対面取引・コール取引のお問合せは

0120-104-014

(平日9時～17時)

ネット取引のお問合せは

0120-318-611

(平日8時～17時)

岩井コスモ証券

商号等：岩井コスモ証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号
加入協会：日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会

【お取引に関するご留意事項】 当社が取扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。



Club
GLION



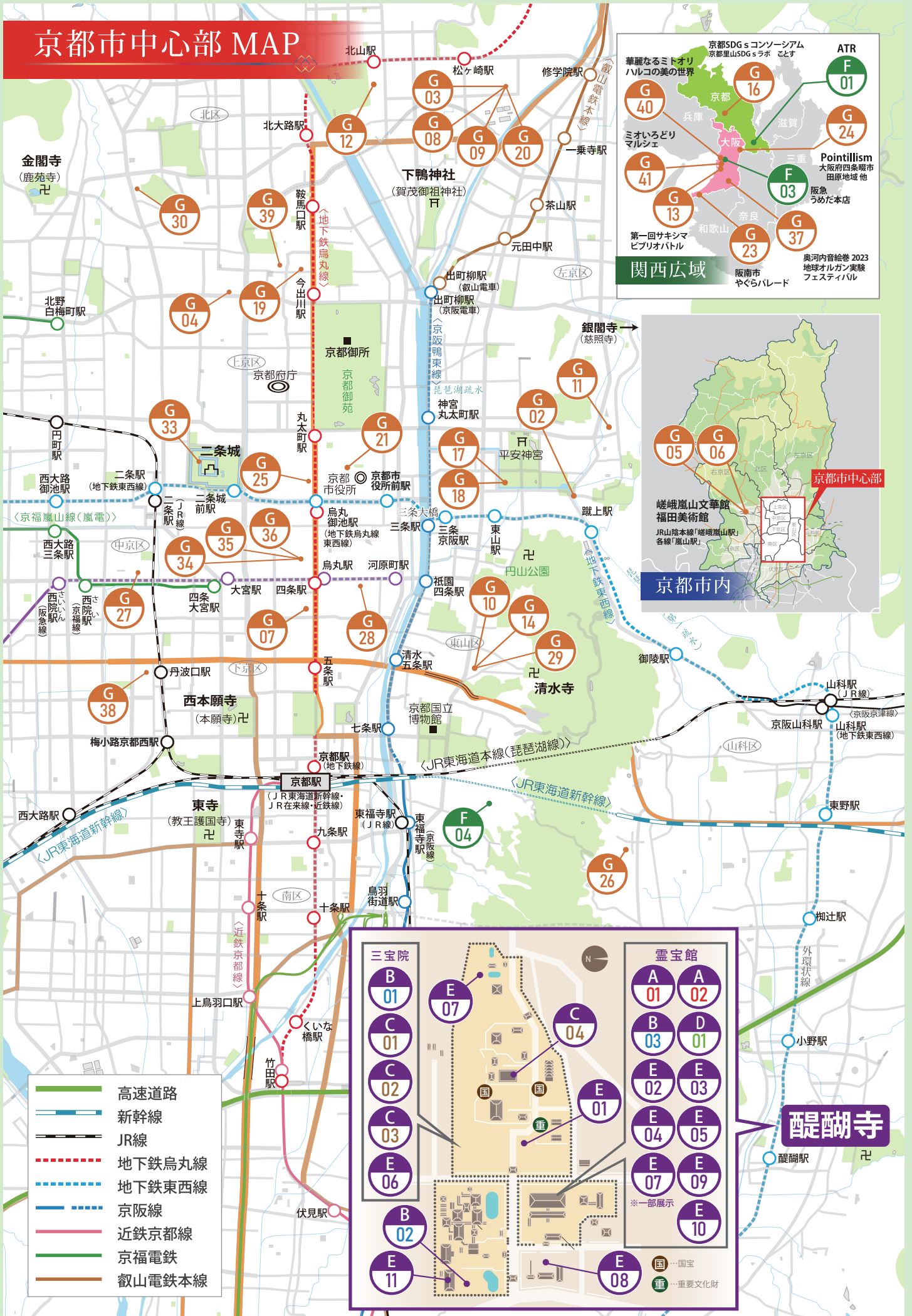
CLUB GLION
OFFICIAL SITE

ここでしか味わうことのできない体験や
特別な時間をご案内する会員サービス

車から広がる喜びと感動を。

GLION GROUP

京都市中心部 MAP



京都SDGsコンソーシアム
京都里山SDGsラボ ことす

華麗なるミトオリ
ハルコの美の世界

ミオいろどり
マルシェ

第一回サキシマ
ビブリアバトル

Pointillism
大阪府四条坂市
田原地域他
阪急 うめた本店

奥内音絵巻 2023
地球オルガン実験
フェスティバル

関西広域

ATR
F 01
G 16
G 24
G 40
G 41
G 13
G 23
G 37
F 03

嵯峨嵐山文華館
福田美術館
JR山陰本線「嵯峨嵐山駅」
各線「嵐山駅」

京都市中心部

京都市内

G 05
G 06

- 高速道路
- 新幹線
- JR線
- - - 地下鉄烏丸線
- - - 地下鉄東西線
- - - 京阪線
- - - 近鉄京都線
- - - 京福電鉄
- - - 叡山電鉄本線

三寶院

霊宝館

醍醐寺

醍醐駅

外環状線

小野駅

国...国宝
重...重要文化財

※一部展示

B 01
C 01
C 02
C 03
E 06
B 02
E 11

E 07
C 04
E 01
A 01
A 02
B 03
D 01
E 02
E 03
E 04
E 05
E 07
E 09
E 10
E 08